



Cisco Unified Personal Communicator の展開

次の各トピックで、Cisco Unified Personal Communicator を展開する方法について説明します。

- [使用するインストーラ パッケージの決定、3-2 ページ](#)
- [Microsoft Windows 環境でのアプリケーションの展開、3-3 ページ](#)
- [エンドユーザへの情報の提供、3-5 ページ](#)

展開作業を始める前に、[第 2 章「Cisco Unified Personal Communicator を展開するための準備」](#)を参照してください。展開の前に行う必要のある作業が説明されています。

使用するインストーラ パッケージの決定

Cisco Unified Personal Communicator の展開には、表 3-1 に示されているインストーラ パッケージが使用できます。

表 3-1 インストーラ パッケージ

ファイル名	説明
CiscoUnifiedPersonalCommunicatorSetupK9.exe	この実行ファイルには、必要な Windows インストーラ エンジン、Cisco VT Camera および Cisco VT Camera II のドライバ、ユーザ インターフェイス、および展開用の関連する DLL ¹ が含まれています。 このパッケージは、通常、個別のユーザがアプリケーションをインストールする場合に使用します。
CiscoUnifiedPersonalCommunicatorSetupK9.msi	この Microsoft Windows Installer (MSI) パッケージには、Cisco VT Camera および Cisco VT Camera II のドライバ、ユーザ インターフェイス、および展開用の関連する DLL が含まれています。 このパッケージは、通常、IT 管理者が会社の展開ツール (Altiris、SMS、Active Directory など) を使用してエンド ユーザにインストールをプッシュする場合に使用します。

1. DLL = Dynamic Link Libraries (ダイナミック リンク ライブラリ)

関連トピック

- [Microsoft Windows 環境でのアプリケーションの展開、3-3 ページ](#)

Microsoft Windows 環境でのアプリケーションの展開

次の各トピックで、Windows 環境でアプリケーションを展開する方法について説明します。

- [共有の場所への展開、3-3 ページ](#)
- [クライアント PC でのインストーラの使用、3-3 ページ](#)
- [ソフトウェア展開ツールの使用、3-3 ページ](#)
- [Windows インストーラの問題レポート サポート エイリアスの設定、3-4 ページ](#)

共有の場所への展開

ユーザがアクセスできる Web サーバなどの共有の場所に、実行ファイルまたは MSI パッケージを展開できます。ユーザがインストールを完了する（インストーラを実行してインストール ウィザードに従う）ことができるように、権限を高めてインストールをプッシュする必要があります。

関連トピック

- [使用するインストーラ パッケージの決定、3-2 ページ](#)
- [Windows インストーラの問題レポート サポート エイリアスの設定、3-4 ページ](#)
- [エンドユーザへの情報の提供、3-5 ページ](#)

クライアント PC でのインストーラの使用

実行ファイルまたは MSI パッケージを、クライアント PC に直接展開できます。ユーザがインストールを完了する（インストーラを実行してインストール ウィザードに従う）ことができるように、権限を高めてインストールをプッシュする必要があります。

また、管理者としてログインしている間は、個別のコンピュータでインストール操作を直接実行することもできます。

関連トピック

- [使用するインストーラ パッケージの決定、3-2 ページ](#)
- [Windows インストーラの問題レポート サポート エイリアスの設定、3-4 ページ](#)
- [エンドユーザへの情報の提供、3-5 ページ](#)

ソフトウェア展開ツールの使用

ソフトウェア展開ツールを使用して、Cisco Unified Personal Communicator をクライアント PC に配布できます。ソフトウェア展開ツールには、Active Directory などのグループ ポリシーベースのツールや、Microsoft の System Management Server (SMS) などの高度なツールがあります。

この方法を使用するには、ユーザがインストールを完了する（インストーラを実行してインストール ウィザードに従う）ことができるように、権限を高めてインストールをプッシュする必要があります。



(注)

Cisco Unified Personal Communicator では、管理者がユーザのデスクトップに配置したアイコンをユーザが開くことでアプリケーションをインストールする「アドバタイジング」方式または「パブリッシング」方式の展開はサポートされていません。

関連トピック

- 使用するインストーラ パッケージの決定、3-2 ページ
- Windows インストーラの問題レポート サポート エイリアスの設定、3-4 ページ
- エンド ユーザへの情報の提供、3-5 ページ

Windows インストーラの問題レポート サポート エイリアスの設定

Windows OS 版の Cisco Unified Personal Communicator には、Cisco Unified Problem Reporting Tool が付属しています。管理者（およびエンド ユーザ）は、これを使用して、Cisco Unified Personal Communicator PC クライアントで問題のトラブルシューティングを行うために必要な情報を自動的に収集できます。このツールが生成するレポートは、クライアント PC のデスクトップに保存したり、適切なサポート エイリアスに自動的に電子メールで送信したりできます。

デフォルトでは、アプリケーションはサポート エイリアスの設定を行わずに展開されます。

サポート エイリアスは、アプリケーションを配布またはインストールするときに設定します。

- ソフトウェア展開ツールで展開される MSI パッケージの場合は、次のコマンドを使用します。
`userdrive:\CiscoUnifiedPersonalCommunicatorSetupK9.msi /qb
PROBLEMREPORTMAILER=email@your-support-alias`
- 実行ファイル (.exe) の場合は、ユーザの PC ごとに次のコマンドを入力します。
`userdrive:\CiscoUnifiedPersonalCommunicatorSetupK9.exe /s /v" /qb
PROBLEMREPORTMAILER=email@your-support-alias"`

サポート エイリアスを設定しなかった場合、エラー レポートはクライアント PC のデスクトップに保存されます。

詳細は、次の URL にある Cisco Unified Personal Communicator のトラブルシューティング ガイドを参照してください。

http://cisco.com/en/US/products/ps6844/prod_troubleshooting_guides_list.html

エンド ユーザへの情報の提供

Cisco Unified Personal Communicator を展開したら、表 3-2 に示されている情報をエンド ユーザに提供します。

表 3-2 エンド ユーザが必要な情報

提供する情報	説明	ユーザがインストールを行う場合に提供する	管理者がインストールを行う場合に提供する
クライアント ハードウェア およびソフトウェアの要件に関する情報。	次の URL にあるリリース ノートの情報を利用します。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/prod_release_notes_list.html	はい	はい
Cisco Unified Personal Communicator インストーラの場所。	ソフトウェア実行ファイルがある共有フォルダの場所または CD を提供します。	はい	いいえ
アプリケーションをインストールおよびセットアップするための手順。	Cisco Unified Personal Communicator のユーザ ガイドを提供します。 http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products_user_guide_list.html 概要の章のインストール情報およびセットアップの情報を読むように指示します。	はい	いいえ
ログイン情報。	次の情報を提供します。 <ul style="list-style-type: none">ユーザ名。パスワード。 ユーザ名とパスワードは Cisco Unified CallManager の管理ページで設定しています。2-6 ページの「Cisco Unified IP Phone とエンド ユーザの関連付けおよびグループへのエンド ユーザの追加」を参照してください。 <ul style="list-style-type: none">Cisco Unified Presence Server のホスト名または IP アドレス。	はい	はい
ユーザ機能 (プレゼンス、ビデオ ソフトフォン)。	各ユーザに、使用できる機能 (ライセンス) に関する情報を提供します。 機能の割り当ては、Cisco Unified CallManager の管理ページで行っています (2-15 ページの「ユーザへの機能の割り当て」を参照)。	はい	はい
サポートされる機能: ディレクトリ サービス、ボイスメールの取得と再生、および Web のみの会議へのアクセス。	LDAP ディレクトリ、Cisco Unity Connection、および Cisco Unified MeetingPlace Express との統合に基づいてサポートされる Cisco Unified Personal Communicator の機能に関する情報を、ユーザに提供します。 詳細は、1-3 ページの「Cisco Unified Personal Communicator とネットワークの通信」を参照してください。	はい	はい

■ エンドユーザへの情報の提供

表 3-2 エンドユーザが必要な情報 (続き)

提供する情報	説明	ユーザがインストールを行う場合に提供する	管理者がインストールを行う場合に提供する
アカウント情報	<p>プリファレンス ウィンドウに入力するアカウント情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unity Connection : ユーザ名と Web パスワード (Cisco Unified Personal Communicator がサポートするボイスメール機能を使用するため) 電子メール アカウントは Cisco Unity Connection で作成しています。詳細は、2-23 ページの「Cisco Unity Connection の設定」を参照してください。 • Cisco Unified MeetingPlace Express : ユーザ名とパスワード (Cisco Unified Personal Communicator の会話に Web 会議を追加するため) ユーザ プロファイルは Cisco Unified MeetingPlace Express で作成しています。詳細は、2-24 ページの「Cisco Unified MeetingPlace Express の設定」を参照してください。 	はい	はい
アプリケーションを使用するための説明。	<p>Cisco Unified Personal Communicator のユーザ ガイドとクイック スタート ガイドを提供します。アプリケーションに組み込まれているオンライン ヘルプが使用できることをユーザに伝えます。</p> <p>http://www.cisco.com/en/US/products/ps6844/products_user_guide_list.html</p>	はい	はい
Cisco Unified MeetingPlace Express の会議室 (および Web のみの会議で表示されるもの) に関する情報、および共有コンテンツの提示と使用に関する情報。	Cisco Unified MeetingPlace Express のユーザ ガイドを提供します。	はい	はい
アプリケーションに対する社内のサポート。	支援が必要なときに連絡する人の名前とその連絡方法をユーザに提供します。	はい	はい